

キッズ・ベビースイミングスクール生保護者様

スイミングスクール（キッズ・ベビー）運営に関する再発防止策について

弊社メガロス武蔵小金井店のプール施設内におきまして、2025年7月28日に発生した事故により、ご利用されていた児童一名がお亡くなりになられました。お亡くなりになられました児童の方のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様に深くお悔やみ申し上げます。

2026年2月16日（月）よりキッズ・ベビースイミングスクールの運営を段階的に再開していくにあたり、2025年12月22日公開した再発防止策にもとづいたキッズ・ベビースイミングスクール運営に関する再発防止策を以下の通りご報告いたします。

（公開済みの再発防止策はこちらのリンクよりご参照ください）

プール施設内事故に関する再発防止策についてのご報告

■キッズスイミングスクール運営に関する再発防止策

1.安全管理体制と教育・研修

(1) 安全に関する専門部署の新設

弊社内に安全を専門に管轄する部署を新設し、全店舗の安全に関する項目を継続的に確認してまいります。

(2) 指導者及び監視業務に携わるスタッフへの専門家による研修の実施

水難事故に関する多くの知見を有する外部専門機関「水難総合研究所」による実践的な救命・危機管理研修を受講し、今後も継続して本研修を実施いたします。これにより緊急時対応力の向上を図ります。

(3) 全社員向け定期研修の実施

定期的にケーススタディとなる事故について分析し、傾向と対策をまとめ、全職員向けにグループディスカッション等を通じた研修を行ってまいります。

(4) 救急対応フローの見直し

救命方法として人工呼吸を最優先とし、発生場所の周囲に居合わせた方への配慮方法を含めて救命救急についての研修を定期的に実施いたします。また、AEDとマイクロマスクを同一場所に配置し、迅速に対応できる環境を構築いたします。

(5) 監視業務の定期的なモニタリング

安全対策や事故発生時の職員の対応能力維持向上のため、監視業務の定期的なモニタリングとその結果に基づく改善を3か月ごとに1回実施いたします。

(6) 各種マニュアルの再構築と知識・技能の平準化

各種マニュアルの再構築により、組織全体における知識および技能の平準化を図り、現場での実効性のある

運用を徹底いたします。

(7) 専門資格保有者配置の推進

安全に関する知識維持向上のため、外部資格保有者の配置を推進いたします（例：日本赤十字・公認水泳指導管理士等）。

2. プールの監視体制および運営方法の変更

(1) 監視専任スタッフの配置と役割分担の明確化

これまで監視業務以外の業務も兼務することもあったガードの役割を、監視業務に専任的に携わるスタッフとして役割分担を明確にいたしました。これに伴いサポートキャストを追加配置いたしました。

- ・ ガード：プール全体の監視に専念するスタッフ
- ・ サポートキャスト：運営・水質管理等を担当するスタッフ

加えて、スクールの開講時間帯には、クラスを管理する「クラス担当」のスタッフが、レッスン中のスクール生をプール内にて管理・監督する形で、監視体制を強化しております。

なお、監視業務は、研修を修了しテストに合格した者のみが務めることができるというルールも整備しております。

(2) 定員管理の強化

下記の通りに定員制限を設けました。

- ・ フィックスを着用する未就学児を含む幼児向けクラス：原則 6 名まで
- ・ 上記のうち、指導コーチに加えてサブコーチも一緒にクラスに参加する場合：10 名まで

(3) 身長が水深に満たない児童への対策（30 級～19 級の方）

プールサイドに身長計測表を設置し、お子さまがプール内で直立した際に顔が水面から出るかどうかを確認いたします。また、水深調整台を増設し、プール内で直立しても水面から顔が出ない身長のお子さまがいるクラスは、水深調整台を全面に敷き詰めた状態で練習をスタートさせることで、安全に練習できる環境を確保いたしました。

(4) 浮き具着用の確認体制強化（級未認定の方）

お子さまの身長がプールの最深部水深 + 20 cm に満たない場合は、浮き具の着用を義務化いたします。その際、スタッフ 2 名以上による着用確認を徹底いたします。

(5) 安全を優先した休講判断

生徒の状況や急な指導者の人員不足等により、万が一、安全にレッスン運営ができないと判断した場合は、レッスン直前であっても、レッスンを休講とする判断を行う可能性がございます。

(6) レッスン内「遊び時間」の廃止

安全管理面の観点から、レッスンの最後の時間に提供していた自由に遊ぶ時間を廃止いたします。

3：設備・備品の配備

(1) 緊急時対応用備品

緊急時に利用する救命器具や、救命トレーニング用の備品を整備いたします。

- ・ AED の増設（館内の発生場所を問わず1分以内に持ち込める、という従来の基準以上の台数を設置）
- ・ リトルアン（CPR トレーニング用マネキン）の増設
- ・ トレーニング用 AED 機（トレーニングユニット）の増設

(2) 高所監視台の設置

プールサイドに監視台を設置し、より高い視点からプール全体と水底を見守る監視環境を整備いたしました。

(3) 監視業務に必要な備品の全店統一配備

トランシーバー、救命用具（レサコ）、笛、監視シャツなどの監視業務に必要な備品を全店に統一配備いたします。なお、監視業務にあたる人員は監視シャツを着用することで、ご利用者様からも役割分担が明確にわかるようにいたします。

4：その他の対策（検討中を含む）

(1) 遊泳中動画のご提供

スクール生の遊泳中の様子をカメラで撮影し、その映像を配信するシステムを順次導入してまいります。これにより、保護者の皆様に指導内容を可視化することで安心して頂けるようになるとともに、弊社スタッフの指導品質の向上にもつなげてまいります。

(2) AI 監視カメラの導入検討

人の目による監視業務の補助を目的とし、プール内に設置予定のウェブカメラと AI によるリアルタイムな画像解析技術の導入検討をすすめております。

ご不安やご不明点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

【問合せ先フォームリンク】

<https://megalos.co.jp/contents/inquiry/>

野村不動産ライフ＆スポーツ株式会社